

上下顎複数歯欠損に対して クーゲルホックアタッチメントを 使用した症例

神岡歯科医院（東京都）

院長 神岡 徹 先生



症例概要

患者は69歳女性。上下顎の多数歯が欠損しており、すれ違い咬合であった（図1,2）。

残存歯を鉤歯の負担から解放すること、また、従来のパーシャルデンチャーの問題点である咬合圧による義歯の沈下防止・側方への動きに対応すること、残存歯の保護を目的とし、インプラントを支台としたオーバーデンチャーを計画した。

オーバーデンチャーのアタッチメントのひとつに、クーゲルホックアタッチメント（山八歯材工業（株）製）が挙げられる。従来のラインナップは天然歯用のみであったが、和田精密歯研（株）にてインプラント用のクーゲルホックメール部がCAM加工できるようになったので使用を試みた。



図1. 初診時オルソパントモX線写真



図2. 初診時の口腔内写真

クーゲルホックアタッチメント

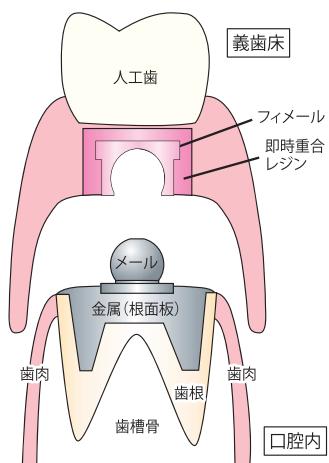
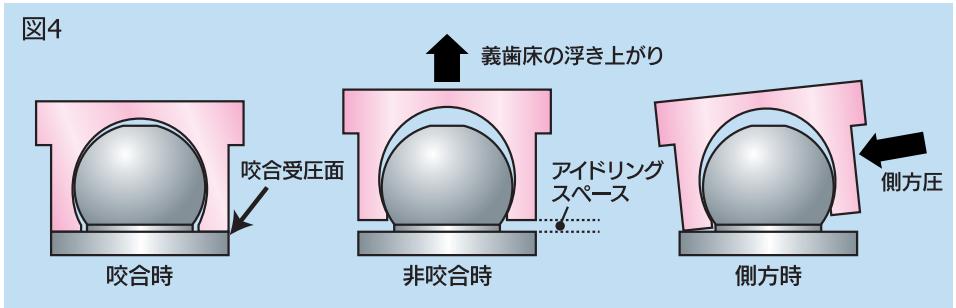


図3. 天然歯用のクーゲルホックアタッチメント

図4. メール部とフィメール部の間に設けられた「アイドリングスペース」。このスペースによって、咬合圧や側方圧といった支台歯あるいはインプラントに加わるストレスを軽減することができる。

クーゲルホックアタッチメントのフィメールは、山八歯材工業（株）が開発したPP製（ポリプロピレン）のアタッチメントである。クーゲルホックは小型で強い維持力（700g以上）をもつ。メール部とフィメール部の間にアイドリングスペースという遊び（浮き上がり空間）を設ける事によって、咬合圧や側方圧といった、支台歯あるいはインプラントに加わるストレスを軽減する事ができる（図3,4）。また非咬合時には、粘膜への圧迫が解放され、装着感の良い有床義歯を作製することができる。



コンピューターガイデッドサージェリー

根面型アタッチメント使用時には、各インプラント体同士を平行に埋入することが推奨されている。クーゲルホックアタッチメントにおいても、インプラント体1本あたり 10° まで傾斜を許容することであるが、実際はアタッチメントフィメールの脱離・劣化・摩耗などの問題が発生する可能性もある。インプラント体同士を平行に埋入するためには、やはりコンピューターガイデッドサージェリーの利用が望ましい。

本症例では、治療用義歯を用いて咬合挙上したのち、CT撮影用テンプレートを作製しCT撮影を行った(図5)。上下顎ともにBioNa[®]でシミュレーションを行い、山八歯材工業(株)製のミューワンHAインプラント2ピースの埋入を計画した(図6,7)。



図5.CT撮影用テンプレート

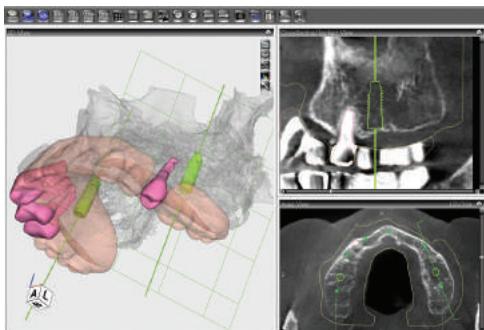


図6.BioNa®上顎シミュレーション

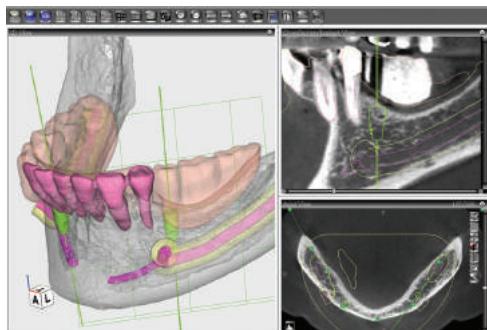


図7.BioNa®下顎シミュレーション



図8.上顎フラップ用ガイド



図9.上顎埋入窓形成用ガイド

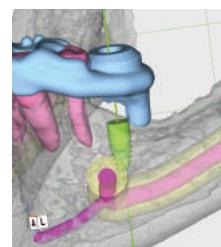


図10.サージカルガイドの骨支持部

サージカルガイドは埋入窓形成用の他、フラップ位置をマーキングするためのフラップ用ガイドを用いた(図8,9)。遊離端欠損症例においては、サージカルガイドが遠心方向に沈下することを防ぐため、骨上に支持部を設ける工夫がなされている(図10)。

最終補綴



図11.クーゲルホックアタッチメント



図12.義歯装着時

埋入手術後2ヶ月の免荷期間をおいたのち、インプラント体にクーゲルホックアタッチメントを装着した(図11,12)。

義歯床内には金属で補強構造を設定している。補強構造は義歯床やアタッチメントの破折・破損を低減するだけでなく、義歯機能時の変形を防ぐためにも有効である。

クーゲルホックアタッチメントは、メール部とフィメール部の間に設けられたアイドリングスペースによって咬合時のストレスを軽減するため、軽やかな装着感を得られる。維持力も高くしっかり咀嚼することができ、患者は高い満足感を示している。

ミューワン HA インプラント 2ピース
μ-ONE HA IMPLANT 2 PIECE

フィックスチャーヘッド
フィックスチャー
カバースクリュー
アバットメントスクリュー
フィックスチャーセット品 (同梱)

多機能フィックスチャーヘッド
フィックスチャーヘッドは3機能
① オペ時のドライビングマウント
② 印象用コーピング
③ 補綴用アバットメント

応力分散マイクログループ
HAとの組み合わせによりすぐれた応力分散性

セルフタッピングスレッド & テーパードボディ
確実な初期固定の獲得

インターナルヘックス嵌合

プラットフォームシフト構造

スパッタ HA 薄膜 (スパッタイト™)
緻密な HA ナノ結晶質薄膜 (膜厚 1~2μm)

1 高い骨伝導能
2 高い感染抵抗性
3 高いHA密着性と剥離リスク解消
4 軽微な骨吸収と長期良好な予後